

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づく
教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び
評価結果報告書

(平成26年度分)

青森県平川市教育委員会

目 次

1.	はじめに	1
2.	自己点検・評価の実施状況	1
3.	具体的な点検・評価の方法	1
4.	教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価	
	シート1 教育委員会の活動	3
	シート2 教育委員会が管理・執行する事務	5
	シート3 教育委員会が管理・執行を教育長に 委任する事務	7
	事務事業評価表	8～28

1. はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正に伴い、平成20年度から、教育委員会はその権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならないとされました。

平川市教育委員会は、確かな学力と社会教育を育む学校教育の充実や、市民の各世代にわたる学びの意欲にこたえる生涯学習の充実などにより、人々の個性が尊重され、共に高め合うまちを目指すため様々な事業を進め、その結果を踏まえて改革に取り組んできました。

これらの事業の政策効果を把握し、必要性、効率性等の観点から、教育委員会自ら点検・評価を行い、この結果を公表することは、政策立案を的確に行うとともに市民に対する説明責任を果たす上で重要なこととあります。

このような観点から、法の趣旨にのっとり教育委員会の権限に属する事務の管理・執行の状況について点検・評価を行いました。

2. 自己点検・評価の実施状況

地方教育行政の組織運営に関する法律第26条に基づき、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況について、教育委員会において点検・評価を実施いたしました。

また、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出しております。

3. 具体的な点検・評価の方法

(1) 次の3つの項目に分類しました。

- シート1 教育委員会の活動（教育委員会の活動及び運営状況等）
- シート2 教育委員会が管理・執行する事務（教育委員会の会議に諮られる事項）
- シート3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務（事務局が実施する事務事業）

(2) 3つの事項を次の方法で点検・評価を行いました。

- シート1 教育委員会の活動及び運営状況等について、結果達成度・成果達成度がどの程度になっているかどうかで評価しました。
 - A・達成している (100%)
 - B・ほぼ達成している (80%)
 - C・おおむね達成している (60%)
 - D・達成していない (50%以下)
- シート2 教育委員会が管理・執行する事務 (教育委員会の会議に諮られる事項) について、事務の進捗状況や、教育委員会での審議状況を記載することにより点検・評価を行いました。
- シート3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務事業について、事業実施、成果等を踏まえシート1と同様に A～D の評価を行いました。

4. 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価シート

平川市教育委員会は、確かな学力と社会性を育む学校教育の充実や、市民の各世代にわたる学びの意欲にこたえる生涯学習の充実などにより、人々の個性が尊重され、共に高めあうまちを目指すため様々な事業を進め、平川市長期総合プランの具現化に取り組んでいるところである。

この教育委員会の点検・評価については、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たし、その活動を充実させるために平成20年度から実施している。

(シート1)

大項目	中項目	小項目	点検・評価
1 教育委員会の活動	(1)教育委員会の会議の運営改善	①教育委員会会議の開催回数	Ⓐ B・C・D ・教育委員会会議の開催回数は毎月開催の定例会を12回、臨時委員会を3回開催した。 ・審議事項の漏れはなく事務処理が円滑に実施した。
		②教育委員会会議の運営上の工夫	Ⓐ・B C・D ・昨年同様に教育委員会への提出議案様式を統一して、会議が円滑に進むよう各課で資料作成に努めたが、説明の仕方等についてまだ改善の余地がある。
	(2)教育委員会の会議の公開、保護者や地域住民への情報発信	①教育委員会会議の傍聴者の状況	Ⓐ・B C・D ・市ホームページに定例会の日程を掲載したが、傍聴者は無かった。周知の方法等について検討が必要である。
		②議事録の公開、広報公聴活動の状況	Ⓐ B・C・D ・教育委員会開催について、定例会議の日程について、市ホームページに掲載した。 ・毎月の教育委員会議事録を市ホームページで公開した。

大項目	中項目	小項目	点検・評価	
1 教育委員会の活動	(3)教育委員会と事務局との連携	①教育委員会と事務局の連携	Ⓐ B・C・D	・毎月開催の定例会において、当該年度の各種事業等について報告を行うとともに、議案審議についても各委員と事務局の意見交換を行うなど、委員会と事務局の連携は十分図られた。
	(4)教育委員会と首長との連携	①教育委員会と首長との意見交換等の実施	Ⓐ B・C・D	・教育長は市長と毎週一回、日程等について意見交換を行っている。さらには、協議事項が発生した場合には、その都度速やかに市長に報告して情報の共有と連携を図った。
	(5)教育委員会の自己研鑽	①研修会への参加状況	Ⓐ Ⓑ C・D	・教育委員としての認識を深めるため、県主催の研修会に参加するとともに、中南管内教育委員研修会に参加し自己研鑽に努めたが、東北大会に参加できなかった。
	(6)学校及び教育施設に対する支援・条件整備	①学校訪問	Ⓐ B・C・D	・教育現場の実情を把握するため、市立小中学校全校訪問を春と秋の年2回実施し、教育現場の現状、課題について現場の関係者と意見交換を行った。 (訪問学校 市立小学校9校 市立中学校4校)
		②所管施設の訪問	Ⓐ B・C・D	・教育施設の実情を把握するため、各体育施設及び平賀学校給食センターを訪問し、各施設の状況等について把握した。

大項目	中項目	点検・評価
2 教育委員会が管理・執行する事務	(1)教育行政の運営に関する一般方針を決定すること	・教育行政の運営に関する一般方針については、平川市長期総合プラン計画策定時に協議し決定した。この方針に基づき、教育行政の運営に努めた。
	(2)教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の設置及び廃止並びに敷地の選定に関すること	・当該事例なし
	(3)教育委員会規則の制定または改廃に関すること	・教育委員会規則の制定等について、慎重かつ迅速に審議を行った。
	(4)県費負担職員の懲戒及び県費負担職員で校長の任免その他進退について内申すること	・校長の任免その他進退の内申については、教育委員会に諮った。
	(5)県費負担職員のサービスの監督の一般方針を定めること	・学校管理運営規則及び学校職員服務等に関する規程に基づき、県費負担教職員の服務規律等の確保に努めた。また、毎月開催の定例校長会等において、具体的に指導し、更なる綱紀肅正を図るとともに、交通違反、交通事故関係や、体罰等の防止に努めた。
	(6)教育長、事務局長、課長、所長その他教育機関の長の任免を行うこと	・教育長の任命について委員会に諮った。 ・教育委員会内の異動について、委員会に諮った。
	(7)教育予算その他議会の議決を経るべき議案について意見を述べること	・教育委員会関係の条例制定や改正等について審議、承認された。
	(8)条例、規則に定める附属機関の委員の任命、委嘱又は解任、解嘱を行うこと	・各委員の任命について教育長提案のとおり議決した。 (平川市学校評議員の委嘱、平川市スポーツ推進委員の委嘱、学校医・学校歯科医・学校眼科医・学校薬剤師の委嘱、平川市社会教育委員の委嘱、平川市就学指導委員の委嘱、平川市文化財保護審議会委員及び平川市郷土資料館運営協議会委員の委嘱)

大項目	中項目	点検・評価
2 教育委員会が管理・執行する事務	(9)校長、教頭その他教育機関職員の研修の一般方針を定めること	・平成26年度「平川市の教育」の中で、学校教育の方針と重点で最重要項目として位置づけ、市内小中学校に指導した。
	(10)学齢児童・生徒の就学すべき学校の区域を設定し、又はこれを変更すること	・該当事例なし
	(11)教科用図書を選択すること	・平成27年度小学校及び中学校において使用する教科用図書について採択した。
	(12)文化財の指定及び解除に関すること	・第12回開催の定例教育委員会において、文化財の指定を解除した。(解除物件:役ノ行者像・菅原道真像・不動明王の3件)
	(13)地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条の規定による点検及び評価に関すること	・教育委員会の活動、教育委員会が管理・執行する事務と教育委員会が管理執行を教育長に委任する事務について点検・評価を実施し、議会に提出した。

大項目	本目	個別目標	具体的事務業務	評価欄	No.	担当課
3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務	こころ豊かな未来へ向かうひとつづくり	夢いっぱい子どもたちの育成	奨学金貸与事務	A	1	学校教育課
			幼稚園就園奨励事業	A	2	"
			幼稚園第2子以降幼稚園保育料無料化事業	A	3	"
			小中学校スクールバス運行委託事業	B	4	"
			学校施設の維持・修繕	B	5	"
			学校給食センター運営事業	B	6	平賀学校給食センター
			学力向上対策(学習支援員配置)事業	B	7	指導課
			外国語活動支援員派遣事業	A	8	"
			指導主事による学校訪問	B	9	"
			平川市教職員研修	A	10	"
			児童会・生徒会サミット	A	11	"
			学校支援ボランティア事業	B	12	生涯学習課
			文化協会補助金	B	13	
	いきいきはつらつ生涯学習の推進		各種講座 I (平成の寺子屋)	B	14	"
			" II (家庭教育講座)	B	15	"
	元気はつらつ生涯スポーツの推進		平川市スポーツ推進審議会	B	16	保健体育課
			たけのこマラソン大会補助金	B	17	"
			NPO法人平川市体育協会補助金	B	18	"
			運動施設指定管理委託事業	A	19	"
			運動施設修繕事業	A	20	"
	こころ豊かに芸術文化の振興		文化財保護	B	21	生涯学習課

事務事業評価表

平成26年度

事務事業名	幼稚園就園奨励事業	事業No.	2				
担当課	学校教育課	担当課長	大湯幸男	担当者	廣瀬陽史	内線等	2263
予算科目	一般会計 10款 1項 2目 事務局費						

1. 事業概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1	こころ豊かな、未来へ向かうひとづくり	事業開始年度	26	年度
	個別目標	1	夢いっぱい子どもたちの育成	事業終了年度	26	年度
	主要施策	1	教育環境の整備			
根拠法令・要綱等	平川市幼稚園就園奨励費補助金給付要綱					
事業実施の手法	<input type="checkbox"/> 直営	<input type="checkbox"/> 委託	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金	<input type="checkbox"/> その他 ()		
委託先(委託内容)	[]					
事業の概要	幼稚園児を有する保護者に対し、その世帯の課税状況等に応じ、幼稚園に納付する入園料及び保育料の一部を助成する。					

2. 事業の目的

対象(何、誰を)	幼稚園児を有する保護者で一定の要件を満たす者
事業の目的	幼稚園児を有する保護者の経済的な負担軽減と、幼稚園教育の振興を図る。
事業の現状 (目的実現のための手段 及び実施内容)	<ul style="list-style-type: none"> ○各幼稚園において事業を周知し、保護者より補助金の交付申請を受付ける。 ○申請があった世帯の市民税課税状況等を調査し、認定基準を満たす保護者に援助を決定する。 ○補助金の申請及び保護者に対する給付は、各幼稚園において行う。
事業の成果 (どのような成果を得よう としているか)	保護者の経済的負担の軽減により、幼稚園就園機会の確保に資する。

3. 決算額(単位・千円)

事業費総額	財源内訳			
	国県補助金	(参加者)負担金	その他	一般財源
5,766	1,432	0	0	4,334

4. 事務事業の成果(具体的に記載)

<p>認定要件を満たす幼稚園児の保護者に対し、入園料及び保育料について、所得状況に応じた金額を助成した。 ○対象者:42名 支給総額:5,766,500円</p>

5. 評価

A	幼稚園教育の振興に資する事業である。少子化に伴い、幼稚園就園児が減少の一途を辿っているが、漏れなく就園児の把握に努め助成してきた。結果として、保護者の負担軽減が図られ、幼稚園就園の機会が確保された。
---	---

事務事業評価表

平成26年度

事務事業名	小中学校スクールバス運行委託事業	事業No.	4
-------	------------------	-------	---

担当課	学校教育課	担当課長	大湯 幸男	担当者	相馬 大生	内線等	2262
予算科目	一般 会計 10款2項1目・10款3項1目 学校管理費						

1. 事業概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1	こころ豊かな、未来へ向かうひとづくり	
	個別目標	1	夢いっぱい子どもたちの育成	事業開始年度 26 年度
	主要施策	1	教育環境の整備	事業終了年度 26 年度
根拠法令・要綱等				
事業実施の手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 ()			
委託先(委託内容)	中央タイヤ、(株)ビック・ウイング、弘南バス(株) [バス管理運転委託料]			
事業の概要	学校の統廃合などにより学校所在地までの通学距離が遠距離となった児童生徒に対し、指定の乗降場所から学校までのスクールバス運行を委託し、通学手段の確保をしている。			

2. 事業の目的

対象(何、誰を)	市内学校に通学する対象地域の児童、生徒
事業の目的	学校所在地までの通学距離が遠距離となった児童生徒の通学手段を確保するため、スクールバス運行をする。
事業の現状 (目的実現のための手段 及び実施内容)	<ul style="list-style-type: none"> ○運行するための委託契約(4路線うち市有バス3台)を締結する。 ○年間学校行事、授業等による運行日、運行時間変更は、学校と受託業者、学校教育課で調整している。 ○利用する児童生徒の自己負担なし。
事業の成果 (どのような成果を得よう としているか)	児童生徒の通学に係る身体的負担の軽減、保護者の経済的負担の軽減により、義務教育環境の充実を図る。

3. 決算額(単位・千円)

事業費総額	財源内訳			
14,169	国県補助金	(参加者)負担金	その他	一般財源
	0	0	0	14,169

4. 事務事業の成果(具体的に記載)

対象地域の児童生徒に対し、指定する乗降場所から学校までの4路線のスクールバス運行経費を全額負担し、通学手段、安全を確保した。
--

5. 評価

B	スクールバス運行による通学手段を確保し、義務教育環境の充実を図る事業であるが、児童生徒の安全確保のため、運転手の交通規則を遵守する態度の育成及び指導を行い、スクールバスの安全運行を一層図る必要がある。
----------	--

事務事業評価表

平成26年度

事務事業名	学校施設の維持・修繕	事業No.	5
-------	------------	-------	---

担当課	学校教育課	担当課長	大湯 幸男	担当者	山口佳紀	内線等	2262
予算科目	一般 会計 10款2項1目小学校管理費、10款3項1目中学校管理費						

1. 事業概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1	こころ豊かな、未来へ向かうひとづくり			
	個別目標	1	夢いっぱい子どもたちの育成	事業開始年度	26	年度
	主要施策	1	教育環境の整備	事業終了年度	26	年度
根拠法令・要綱等						
事業実施の手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 ()					
委託先(委託内容)	[]					
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・建築物の改修及び修繕 ・施設、設備の新設及び改修 ・屋外施設の整備及び撤去 					

2. 事業の目的

対象(何、誰を)	平川市立小・中学校
事業の目的	安心・安全で良好な学校環境の維持・向上を目的とする。
事業の現状 (目的実現のための手段及び実施内容)	多数ある学校要望、または建築物定期調査報告の中から必要性及び緊急性の高いものを実施している。
事業の成果 (どのような成果を得ようとしているか)	建築物においては長寿命化、設備においては機能の維持及び向上を図る事により、児童生徒に良好な学習環境を提供する。 また、その他施設においても、新たな施設の設置や危険箇所等の修繕を実施し、安全な環境の維持・向上を図る。

3. 決算額(単位・千円)

事業費総額	財源内訳			
137,280	国県補助金	(参加者)負担金	その他	一般財源
	104,288	0		32,992

4. 事務事業の成果(具体的に記載)

工事請負費 小学校管理費 15件 125,801千円 太陽光発電設備蓄電池整備工事(120,328,000)、金田小・猿賀小高圧区分開閉器更新工事(972,000) 大坊小学校防球フェンス設置工事(1,967,112)、大坊小学校太陽光発電設備修繕工事(999,000) 碓ヶ関小学校煙突石綿飛散防止囲込工事(172,000)、竹館小学校ドレン廻り補修工事(312,120) 柏木小学校体育館扉修繕工事(388,800)、学校ストーブ修繕工事(147,312) 碓ヶ関小学舞台幕取付修繕工事(244,000)、平賀東小学校放送設備改修工事(270,000)
中学校管理費 4件 11,479千円 尾上中学校外壁改修工事(9,309,600)、平賀西中学校監視カメラ設置工事(993,600) 平賀東中学校便器取替工事(928,800)、平賀西中学校便器修繕工事(246,240)

5. 評価

B	大型事業が増えたことから、業務内容が錯綜し、難しい課題への対応が増え、事務処理が遅れた場面があった。また、各小中学校からの要望に対応出来なかった部分もあったことから、次年度以降は適切に対応していきたい。
---	---

事務事業評価表

平成26年度

事務事業名	学校給食センター運営事業	事業No.	6
-------	--------------	-------	---

担当課	学校給食センター	担当課長	今井 馨	担当者	今井 馨	内線等	44-2835
予算科目	学校給食センター特別会計						

1. 事業概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1	こころ豊かな、未来へ向かうひとづくり		
	個別目標	1-1	夢いっぱい子どもたちの育成	事業開始年度 26年度	
	主要施策	1-1-1	学校給食の充実	事業終了年度 26年度	
根拠法令・要綱等					
事業実施の手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営	<input type="checkbox"/> 委託	<input type="checkbox"/> 補助金	<input type="checkbox"/> その他 ()	
委託先(委託内容)	[]				
事業の概要	安全で安心できる学校給食の提供 平賀学校給食センターにおいて 1,785食/日 尾上学校給食センターにおいて 812食/日				

2. 事業の目的

対象(何、誰を)	市立小中学校全校
事業の目的	家庭の手作り感ある、安全でおいしい学校給食を提供するため、衛生・安全管理の徹底と地域の特性を生かした物資の調達、配送などが円滑に行えるよう施設設備の整備、管理運営体制の充実を図る。
事業の現状 (目的実現のための手段及び実施内容)	食材にできる限り地場産品を取り入れている。調理員に対する栄養士等の衛生管理指導。調理器具等の清掃・消毒の徹底を図る。
事業の成果 (どのような成果を得ようとしているか)	地場産品の使用率拡大を図る。食中毒等の防止及びねずみ、害虫等の被害防止を徹底する。

3. 決算額(単位・千円)

事業費総額	財源内訳			
	国県補助金	(参加者)負担金	その他	一般財源
334,028			133,466	200,562

4. 事務事業の成果(具体的に記載)

・地場産品(市内産+県内産)の使用率は年々増加の傾向にあり、26年度は昨年度より大幅に増加した。(使用率 21年度52.4% 22年度56.4% 23年度64.9% 24年度63.7% 25年度63.5% 26年度66.1%) ・衛生管理を徹底することにより、食中毒等の事故等は発生せず、安全な食材を使用した給食を定時に提供できた。

5. 評価

B	市内産農産物に関しては、市、農協、生産者とのネットワークを構築し、納入業者と生産者が緊密にタイアップできるような、インフラ整備を進めていき、市内産品の使用率向上を目指したい。 また、安全でおいしい学校給食の提供については、今後も継続していきたい。
----------	--

事務事業評価表

平成26年度

事務事業名	指導主事による学校訪問	事業No.	9				
担当課	指導課	担当課長	羽賀 義易	担当者	桜庭 裕之	内線等	2292
予算科目	10款 教育費 1項 教育総務費 3目 指導費						

1. 事業概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1	こころ豊かな未来へ向かうひとづくり				
	個別目標	1-1	夢いっぱい子どもたちの育成		事業開始年度	26	年度
	主要施策	1-1-2	学校教育の充実		事業終了年度	26	年度
根拠法令・要綱等							
事業実施の手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営	<input type="checkbox"/> 委託	<input type="checkbox"/> 補助金	<input type="checkbox"/> その他 ()			
委託先(委託内容)	[]						
事業の概要	学校運営全般における教育活動推進の諸問題について指導・助言し、学校教育の水準向上を図るために、計画訪問・要請訪問・生徒指導訪問等を実施する事業である。						

2. 事業の目的

対象(何、誰を)	市内全小中学校の教職員
事業の目的	<p>(1) 計画訪問 ① 学校運営・教育課程の管理等にかかわる現状を把握し問題点解明について指導・助言する。 ② 学習指導・生徒指導等にかかわる諸問題を把握し、指導・助言する。 ③ 「平川市学校教育指導の方針と重点」の周知徹底を図る。</p> <p>(2) 要請訪問 各校の研修(研究)計画に基づく課題解決のために、校長の要請を受けて訪問し、校内研修及び学習指導について指導・助言し、学校教育の推進及び教育力の向上に資する。</p> <p>(3) 生徒指導訪問 長期休業明けに各校を訪問し、生徒指導上の状況把握すると共に、生徒指導上の指導・助言を行う。</p>
事業の現状 (目的実現のための手段及び実施内容)	<p>(1) 計画訪問 5月2校、6月8校、7月3校の学校訪問を中南教育事務所の指導主事2名の帯同を得て実施した。</p> <p>(2) 要請訪問 6月1校、9月3校、10月5校、11月6校からの要請を受けて、学校訪問を実施した。</p> <p>(3) 生徒指導訪問 夏休み明けと冬休み明けに、市内全小中学校を訪問し、実態把握及び指導・助言を行った。</p>
事業の成果 (どのような成果を得ようとしているか)	各種学校訪問を通して、指導・助言することにより、適切な学校運営がなされているかをチェックするとともに、教師の授業力向上に寄与できた。

3. 決算額(単位・千円)

事業費総額	財 源 内 訳			
0	国県補助金	(参加者)負担金	その他	一般財源

4. 事務事業の成果(具体的に記載)

- ① 計画訪問では、各校の学校教育課題への取り組み状況が把握できると共に、全教員の授業も参観することで、具体的な指導・助言ができ、授業力向上に寄与できた。
- ② 要請訪問では、各校の研修計画に基づく課題解決に迫ることができ、各校とも研修意欲が高まってきている。
- ③ 各校が抱える、生徒指導上の配慮を必要とする児童生徒の具体的な状況が把握でき、効果的な対策を指導・助言できた。

5. 評価

B	学校現場からは、指導・助言が具体的で分かりやすいとの評価を得ている。また、市内全小中学校の教師一人一人の研修意欲や授業づくりに対する意欲も高まりつつある。しかし、その成果が特に中学生の学力向上に表れていないため、更に具体的な指導・助言に努めたい。
----------	---

事務事業評価表

平成26年度

事務事業名	児童会・生徒会サミット			事業No.	11		
担当課	指導課	担当課長	羽賀 義易	担当者	荒田 孝将	内線等	2293
予算科目	10款 教育費 1項 教育総務費 3目 指導費						

1. 事業概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1	こころ豊かな未来へ向かうひとづくり			
	個別目標	1-1	夢いっぱい子どもたちの育成		事業開始年度	26 年度
	主要施策	1-1-2	学校教育の充実		事業終了年度	26 年度
根拠法令・要綱等						
事業実施の手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営	<input type="checkbox"/> 委託	<input type="checkbox"/> 補助金	<input type="checkbox"/> その他 ()		
委託先(委託内容)	[]					
事業の概要	夏季休業中の午前中を利用し、尾上分庁舎(多目的ホールや委員会室等を使用)で、市内小中学校児童生徒の代表及び引率者を参加者(約120名程)として、未来の平川市を支えていく児童生徒が、学校の問題を解決することを議題に話し合い等を行う。このような活動を通してリーダーとしての資質を育てていくことをねらいとした事業である。					

2. 事業の目的

対象(何、誰を)	各校でリーダーとして活躍する児童生徒
事業の目的	これからの平川市を支えていく児童生徒を、民主的かつ自発的な発表・行動等ができる市民(特にリーダー)として必要な資質向上を目指す。
事業の現状 (目的実現のための手段及び実施内容)	目指す資質の一要素である、学校を愛する意識・地域や郷土を愛する意識を高めるために、児童生徒が作成した資料をもとにした学校紹介の場を設定し、自分たちの学校について見つめ直す場を与える。これに関連させて、学校のみならず平川市全体にも目を向けさせていくために、市内共通の課題を分科会になって協議する場を設定し、活発な議論を行わせた。
事業の成果 (どのような成果を得ようとしているか)	平川市を支えていく児童生徒のリーダーとしての資質を身に付けさせたい。また、話し合い活動等を活発に行うことにより、議論を進めていく上でのスキルや、合意形成の仕方、積極的に自らの意見を述べる態度等を育成できるものと期待できる。

3. 決算額(単位・千円)

事業費総額	財 源 内 訳			
0	国県補助金	(参加者)負担金	その他	一般財源

4. 事務事業の成果(具体的に記載)

<p>①各学校の代表者が学校紹介し、他の学校の発表を聞くことにより、自分たちの学校について、見つめ直すことができた。</p> <p>②26年度のテーマ「きらめく学校・きらめくまちをつくるために」について、各分科会において活発な話し合い活動がなされ、児童生徒のリーダーとしての資質が身に付いてきた。</p>
--

5. 評価

A	学校の代表という意識を持ち、民主的かつ自発的な発表・行動等ができる児童生徒のリーダーとして必要な資質の向上が図られた。
---	---

事務事業評価表

平成26年度

事務事業名	学校支援ボランティア事業	事業№	12
担当課	生涯学習課	担当課長	谷川 功
		担当者	須藤 久美子
予算科目	一般会計 10款 4項 1目 社会教育総務費		
	内線等	44-1221	

1. 事業概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1	こころ豊かな未来へ向かうひとづくり	
	個別目標	1-1	夢いっぱい子どもたちの育成	事業開始年度 26 年度
	主要施策	1-1-3	青少年教育の推進	事業終了年度 26 年度
根拠法令・要綱等				
事業実施の手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営	<input type="checkbox"/> 委託	<input type="checkbox"/> 補助金	<input type="checkbox"/> その他 ()
委託先(委託内容)	[]			
事業の概要	各学校に1名の学校支援コーディネーターを配置し、コーディネーターは、学校等の要望に応じ、学校とボランティアの間を調整したり、参加の意呼びかけ、活動の企画等を行う。学校支援ボランティア活動は、学習支援・環境整備・学校行事・部活動の指導・安全指導などの実施、地域の人材と意欲、学校のニーズに応じた多様な支援活動を行う。			

2. 事業の目的

対象(何、誰を)	地域住民(PTAを含む)
事業の目的	地域の子どもたちを健やかに育み、教育環境を充実させるために学校・家庭・地域の連携協力が不可欠である。地域の方々の経験や専門的知識を活かし「できる時に・できる人が・できることを」をモットーに地域ぐるみで子どもたちを育成すると同時に住民の生きがいづくりや地域の教育力の活性化等を図る。
事業の現状 (目的実現のための手段及び実施内容)	1. 学校支援コーディネーターの配置 2. ボランティアの活動内容 ①環境整備(花壇の土起こし・花の苗植え、草取り、樹木の剪定、ペンキ塗り)②学習支援(りんご作り・米づくり体験学習、ミシン学習の補助など)③部活動支援④登下校の交通安全見守り隊⑤読み聞かせや図書活動支援⑥学校行事への支援(運動会、餅つき会、昔遊び、学習発表会、スキー大会など) 3. 市内全学校のボランティア活動事例をパネル展示して、市民に活動の周知及び参加の呼びかけをした。
事業の成果 (どのような成果を得ようとしているか)	学習環境の充実、教育活動の充実、子どもの学びの進化、教員の負担軽減、ボランティアの生きがいづくり、地域の教育力向上などが図られる。

3. 決算額(単位・千円)

事業費総額	財源内訳			
787	国庫補助金	(参加者)負担金	その他	一般財源
	511			276

4. 事務事業の成果(具体的に記載)

<p>1. 地域住民(ボランティア)が学校支援を行うことによって、学校に対する理解が得やすくなった。</p> <p>2. 専門的な体験学習を行うことにより、学習に深みが出てきた。</p> <p>3. ボランティアをしたことにより、顔見知りとなり、子どもたちからあいさつされるようになった。</p>
--

5. 評価

B	実施校7校については、活発なボランティア活動が展開されている。 26年度で国庫補助事業終了となるが、単独事業として継続し、市内全ての小中学校で行われるよう更なる周知に努めたい。コーディネーター及びボランティアの新たな人材確保が難しくなっており、今後の課題である。
---	--

事務事業評価表

平成26年度

事務事業名	文化協会補助金	事業No.	13
-------	---------	-------	----

担当課	生涯学習課	担当課長	谷川 功	担当者	須藤 久美子	内線等	44-1221
予算科目	一般会計 10款 1項 1目 社会教育総務費						

1. 事業概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1	こころ豊かな未来へ向かうひとづくり	事業開始年度	26	年度
	個別目標	1-2	いきいきはつらつ生涯学習の推進	事業終了年度	26	年度
	主要施策	1-2-1	生涯学習の推進			
根拠法令・要綱等	平川市社会教育団体等補助金交付要綱					
事業実施の手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 ()					
委託先(委託内容)	[]					
事業の概要	市の社会教育の振興を図るため、社会教育関係団体等が行う事業に要する経費について、年度予算の範囲において補助金を交付する。					

2. 事業の目的

対象(何、誰を)	平川市民で構成する社会教育団体
事業の目的	市民の芸術、文化の向上と振興を図る。
事業の現状 (目的実現のための手段 及び実施内容)	市内の芸術、文化団体相互の連絡協調と育成、会員の研修会や視察研修を開催。各種展覧会、発表、南黒地区美術展及び芸能発表会への参加。 平成25年度より市民文化祭を主催し、作品展示、舞台発表開催など、積極的な活動がなされている。
事業の成果 (どのような成果を得よう としているか)	市内外での発表の場を通じて、市民の文化活動の受け皿として組織、団体が周知され、芸術・文化に親しむ環境の整備が図られる。

3. 決算額(単位・千円)

事業費総額	財源内訳			
450	国県補助金	(参加者)負担金	その他	一般財源
				450

4. 事務事業の成果(具体的に記載)

<p>市内外の展覧会・発表を鑑賞したり、会員の研修会や視察研修を実施している。また、平成25年度より市民文化祭を主催し、文化講演会や会員・児童生徒の作品展、特別展、企画展を開催し、舞台発表では日頃の練習の成果を発表する機会を提供するなど、市民の文化活動を支援し、市民に対して参加を喚起している。</p>

5. 評価

B	社会教育団体として、その目的を達成するための活動内容は適正で成果があり、事業の継続は市民が求めていると判断されるため、引き続き活動を支援していく必要がある。
---	--

事務事業評価表

平成26年度

事務事業名	各種講座Ⅰ(平成の寺子屋)	事業No.	14
-------	---------------	-------	----

担当課	平賀公民館	担当課長	谷川 功	担当者	小山内 宏子	内線等	44-1221
予算科目	一般会計 10款 4項 2目 公民館費						

1. 事業概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1	こころ豊かな、未来へ向かうひとづくり	
	個別目標	1-2	いきいきはつらつ生涯学習の推進	事業開始年度 26年度
	主要施策	1-2-1	生涯学習の推進	事業終了年度 26年度
根拠法令・要綱等				
事業実施の手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営	<input type="checkbox"/> 委託	<input type="checkbox"/> 補助金	<input type="checkbox"/> その他()
委託先(委託内容)	[]			
事業の概要	進展する現代社会に対応できる教養を身につけきらめくひとづくりをめざして、講座や移動学習等を開催する。			

2. 事業の目的

対象(何、誰を)	市内に居住または勤務する成人の方
事業の目的	生涯にわたって自らが輝きつづけるために講演や文化芸術活動への参加を通じ、現代社会に対応できる教養を身につけ、学習によって得た知識等を積極的、かつ自主的に地域活動に活かす、きらめくひとづくりを目指す。
事業の現状 (目的実現のための手段及び実施内容)	広報等で周知募集を行い、1回の参加者は平均24名である。講座の他、移動学習を1回行った。内容としては、健康に関すること、歴史に関すること、日常生活の参考になるものなど身近なテーマを設定した。
事業の成果 (どのような成果を得ようとしているか)	生涯にわたって充実した生活を送るため、身近なテーマをより深く、また普段気づかない視点から考えるなどし、新たな発見をすることでさらに教養が高められ、地域活動に還元される。

3. 決算額(単位・千円)

事業費総額	財源内訳			
92	国県補助金	(参加者)負担金	その他	一般財源
				92

4. 事務事業の成果(具体的に記載)

<p>平成の寺子屋に参加した方にアンケートをとった結果、興味深いテーマや体験ができ内容が充実しているという声や、普段の暮らしに役立つような内容で、よかったという声が聞かれた。また、要望として、地域の歴史・民俗行事に関すること、防災に関する事など、身近な地元を知りたいという思いの強さを感じたことから、次年度の計画に反映させたい。</p>
--

5. 評価

B	年間10回のテーマを幅広く設定することで、それぞれ興味があるものを選択できるようにしたが、参加者が、関心をもつテーマと講師の選定が、この事業の課題と思われる。今後は、身近なテーマや郷土の文化・歴史など取り入れるよう努めたい。
---	--

事務事業評価表

平成26年度

事務事業名	各種講座2(家庭教育講座)	事業No.	15
担当課	生涯学習課	担当課長	谷川 功
		担当者	須藤 久美子
予算科目	一般会計 10款 1項 1目 社会教育総務費		
		内線等	44-1221

1. 事業概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1	こころ豊かな未来へ向かうひとづくり
	個別目標	1-2	いきいきはつらつ生涯学習の推進
	主要施策	1-2-1	生涯学習の推進
根拠法令・要綱等			
事業実施の手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営	<input type="checkbox"/> 委託	<input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 (
委託先(委託内容)	[]		
事業の概要	学校と家庭と地域が連携・協力しながら子育てを行い、支えていくために、親の学びや子の育ちを応援する学習の機会を多様な場を活用して提供する。		

2. 事業の目的

対象(何、誰を)	児童、生徒、保護者、地域住民
事業の目的	子育て中の親、学校関係者、地域の人たちが共に現代の親子関係や子どもを理解することで、親子と地域とのつながりのもてる家庭教育を目指す。
事業の現状 (目的実現のための手段及び実施内容)	小学校5校、中学校1校で、児童・生徒・教職員・保護者・地域住民を対象に、家庭教育に関する講演会を開催した。
事業の成果 (どのような成果を得ようとしているか)	学校の参観日など保護者の集まる機会を捉えて開催することで、より多くの人が参加できる。各学校が抱えている問題、課題について個別に対応できる。

3. 決算額(単位・千円)

事業費総額	財源内訳			
88	国県補助金	(参加者)負担金	その他	一般財源
				88

4. 事務事業の成果(具体的に記載)

<p>子どもの発達課題や生活習慣、インターネットの危険性など、学校や保護者の要望に応えるテーマで実施することができた。実施校の中には、音楽を交えた語りなどの講座を実施した学校もあり、親が子を思う心情など曲のメッセージ性が高く、感動を生んでいた。</p>
--

5. 評価

B	学校と連携したことで、学校や保護者の要望に応えた内容の講座を実施できた。実施校が6校なので、市内の他の学校でも実施となるよう、事業の更なる周知に努めたい。
---	---

事務事業評価表

平成26年度

事務事業名	平川市スポーツ推進審議会	事業No.	16
-------	--------------	-------	----

担当課	保健体育課	担当課長	角田俊明	担当者	松田正志	内線等	43-0660
予算科目	一般会計	10款	5項	1目	保健体育総務費		

1. 事業概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1	こころ豊かな、未来へ向かうひとづくり		
	個別目標	1-3	元気はつらつ生涯スポーツの推進	事業開始年度	26年度
	主要施策	1-3-1	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	事業終了年度	26年度
根拠法令・要綱等	スポーツ基本法・平川市スポーツ推進審議会設置条例				
事業実施の手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営	<input type="checkbox"/> 委託	<input type="checkbox"/> 補助金	<input type="checkbox"/> その他 ()	
委託先(委託内容)	[]				
事業の概要	平川市教育委員会の諮問に応じて、年数回会議を開き、スポーツの推進に関する事項等について調査審議し、教育委員会へ建議する。 委員はスポーツ団体関係者、関係行政機関の職員、知識経験を有する者10名で構成され、任期は2年となっており、現委員はH26.6.1～H28.5.30までの任期となっている。				

2. 事業の目的

対象(何、誰を)	市民を対象
事業の目的	スポーツ推進計画、その他スポーツの推進に関する事項について調査審議し、教育委員会へ建議することを目的とする。
事業の現状 (目的実現のための手段及び実施内容)	教育委員会の諮問に応じて、年2回会議を開き、諮問内容を調査審議し、教育委員会へ建議している。
事業の成果 (どのような成果を得ようとしているか)	行政機関へ第三者的立場の意見を取り入れ、民意の反映や専門的知識の導入を図る。

3. 決算額(単位・千円)

事業費総額	財源内訳			
	国県補助金	(参加者)負担金	その他	一般財源
91				91

4. 事務事業の成果(具体的に記載)

市のスポーツ関係計画等を審議会へ諮問し、審議会で審議し、教育委員会に建議することで、民意の反映や専門知識の導入を図ることができた。

5. 評価

B	市のスポーツ推進計画、その他スポーツの推進に関する事項について調査審議し、教育委員会へ建議することにより、行政機関へ民意を反映することができ、市の施策に対する重要な役割を担っている。
----------	---

事務事業評価表

平成26年度

事務事業名	たけのこマラソン大会補助金	事業No.	17
-------	---------------	-------	----

担当課	保健体育課	担当課長	角田俊明	担当者	松田正志	内線等	43-0660
予算科目	一般会計 10款 5項 1目		保健体育総務費				

1. 事業概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1	こころ豊かな、未来へ向かうひとづくり		
	個別目標	1-3	元気はつらつ生涯スポーツの推進	事業開始年度	26年度
	主要施策	1-3-1	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	事業終了年度	26年度
根拠法令・要綱等	平川市たけのこマラソン大会事業費補助金交付要綱				
事業実施の手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 ()				
委託先(委託内容)	[]				
事業の概要	平川市たけのこマラソン大会実施に向け下記事項について取り組む 1. 大会の運営に必要な総合企画に関すること 2. 大会運営に必要な施設等の整備計画に関すること 3. 関係機関・団体との連絡調整に関すること				

2. 事業の目的

対象(何、誰を)	子どもから大人まで幅広い年齢層の県内外のマラソン愛好者(補助対象者:平川市たけのこマラソン大会実行委員会)
事業の目的	参加者全員がマラソン大会を通じて、スポーツに対する意識の高揚と、礎ヶ関地域の大自然に触れ、親睦と交流を図ることを目的とする。
事業の現状 (目的実現のための手段及び実施内容)	平成25年度からハーフコースを設定したところ参加者が1,000人を超え、盛大に開催されているが、協力スタッフの人数も限られており、着順の整理や記録の集計に時間を要し公式記録の発表が遅くなり、表彰式に入賞者がいない状況にある。この状況をクリアするためには、自動記録システム(ICチップ)の導入が不可欠と考えられる。
事業の成果 (どのような成果を得ようとしているか)	県外からの参加者が数多く、市内に宿泊したり、お土産を買ったりと経済的効果が期待され、平川市を全国にPRできるとともに、参加者の健康づくりが図られており、事業成果は出ていると思われる。

3. 決算額(単位・千円)

事業費総額	財源内訳			
4,197	国県補助金	(参加者)負担金	その他	一般財源
		2,273	824	1,100

4. 事務事業の成果(具体的に記載)

<p>今年度の参加者数が1,158名となり、年々増加の傾向にあり、大きな成果があった。年々参加者が増加傾向にあり、平川市が全国にアピールできるマラソン大会へとなっていることから、今後は、検討課題である「自動計測システム」の導入と、計時部門の運営体制を充実させ、参加者の受け入れ態勢を整えていくことが重要である。</p>

5. 評価

B	<p>県内外から、1,000人以上の参加者があり定着した大会となっていることは評価できる。しかしながら、参加者から、多くの意見が寄せられているものの、全てに対応できていない現状である。今後は、実行委員会の組織体制、運営方法を見直しながら実施していく必要がある。</p>
---	--

事務事業評価表

平成26年度

事務事業名	NPO法人平川市体育協会補助金	事業No.	18
-------	-----------------	-------	----

担当課	保健体育課	担当課長	角田俊明	担当者	松田正志	内線等	43-0660
予算科目	一般会計	10款	5項	1目	保健体育総務費		

1. 事業概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1	こころ豊かな、未来へ向かうひとづくり	
	個別目標	1-3	元気はつらつ生涯スポーツの推進	事業開始年度 26 年度
	主要施策	1-3-1	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	事業終了年度 26 年度
根拠法令・要綱等	平川市体育協会事業補助金交付要綱			
事業実施の手法	<input type="checkbox"/> 直営	<input type="checkbox"/> 委託	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金	<input type="checkbox"/> その他 ()
委託先(委託内容)	[]			
事業の概要	当市のスポーツ団体である、平川市体育協会を支援することにより、組織の基盤強化を促進し、組織の推進、選手・指導者の育成を図ることで、平川市における体育、スポーツを振興し、市民の体力向上を図る。			

2. 事業の目的

対象(何、誰を)	NPO法人平川市体育協会
事業の目的	当市のスポーツ団体である平川市体育協会を支援することにより、組織の基盤強化を促進し、組織の推進、選手・指導者の育成を図ることで、平川市における体育、スポーツを振興し、市民の体力向上を図り、スポーツ精神を養い、もって市民の心身の健全な発達と明るく豊かな生活の形成を目的とする。
事業の現状 (目的実現のための手段及び実施内容)	運営の実績も加わってきており、生涯スポーツの実践に取り組んでいる。しかし、職員の育成を図りながらの事業実施が多く、組織としてはまだ未熟で行政に頼るところが大きいため、保健体育課と連携をして推進している。
事業の成果 (どのような成果を得ようとしているか)	各種スポーツ教室を開催し、市民へスポーツをする機会を提供することで、生涯スポーツの普及、市民の健康増進に繋がる。また、選手・指導者の育成を図り、平川市における体育・スポーツの振興を図る。

3. 決算額(単位・千円)

事業費総額	財源内訳			
	国県補助金	(参加者)負担金	その他	一般財源
2,000				2,000

4. 事務事業の成果(具体的に記載)

運営の実績も加わってきており、選手の育成や各種教室の開催等、生涯スポーツの実践に取り組んでいる。また、各協会から輩出された選手の中には各種大会で好成績を収めている者も多く、県民体育大会での成績は常に上位におり、更なる飛躍が期待できる。

5. 評価

B	各種教室の開催等による、当市生涯スポーツ推進の中核を担っており、また、各競技団体からは全国大会へ出場する選手も多く輩出していることから、体育協会の活動は評価できる。今後は経営基盤の更なる強化を推進し、平川市のスポーツ振興と競技力向上に努める必要がある。
----------	--

事務事業評価表

平成26年度

事務事業名	運動施設指定管理委託事業	事業No.	19
-------	--------------	-------	----

担当課	平川市運動施設	担当課長	角田俊明	担当者	葛西孝弘	内線等	43-0660
予算科目	一般会計 10款 5項 2目 総合運動施設費						

1. 事業概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1	こころ豊かな、未来へ向かうひとづくり		
	個別目標	1-3	元気はつらつ生涯スポーツの推進	事業開始年度	26年度
	主要施策	1-3-3	スポーツ施設の充実	事業終了年度	26年度
根拠法令・要綱等					
事業実施の手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他()				
委託先(委託内容)	NPO法人平川市体育協会				
事業の概要	平賀体育館、平賀屋内温水プール、おのえスポーツセンター、ゆうえい館、平賀グラウンドの指定管理業務を行っている。				

2. 事業の目的

対象(何、誰を)	NPO法人平川市体育協会
事業の目的	運動施設の指定管理を行うことにより、サービスの向上に努め、市民が利用しやすい施設として、スポーツの振興と、健康づくりを目的とする。
事業の現状 (目的実現のための手段 及び実施内容)	だれもが生涯スポーツ並びにレクリエーションの場として、安全で快適に利用できるように効率的な管理運営に努めている。
事業の成果 (どのような成果を得よう としているか)	各施設の利用者数は、毎年増加傾向にある。特に児童・生徒の利用が多く、利用している団体が、各種大会で優秀な成績を収めており、スポーツ振興と競技力向上に繋がっている。

3. 決算額(単位・千円)

事業費総額	財源内訳			
98,174	国県補助金	(参加者)負担金	その他	一般財源
				98,174

4. 事務事業の成果(具体的に記載)

施設全体の利用者は増加傾向にあるが、それぞれの施設において修繕等の維持管理費が高くなる傾向にある。指定管理することにより、サービスの向上や教室等を開催していることで、市民のスポーツ振興と健康づくりに役立っている。
--

5. 評価

A	施設の修繕等による管理費が高んでおり、運営面では多少改善が必要と思われるが、運動施設を利用している、個人、団体が、各種大会で優秀な成績を収め成果を上げていることから、施設運営は評価できる。市民の体力づくり及び健康づくりも各競技力向上の場として根付いている。
---	--

事務事業評価表

平成26年度

事務事業名	運動施設修繕事業	事業No.	20
-------	----------	-------	----

担当課	平川市運動施設	担当課長	角田俊明	担当者	葛西孝弘	内線等	43-0660
予算科目	一般会計 10款 5項 2目 総合運動施設費						

1. 事業概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1	こころ豊かな、未来へ向かうひとづくり		
	個別目標	1-3	元気はつらつ生涯スポーツの推進	事業開始年度	26 年度
	主要施策	1-3-3	スポーツ施設の充実	事業終了年度	26 年度
根拠法令・要綱等					
事業実施の手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営	<input checked="" type="checkbox"/> 委託	<input type="checkbox"/> 補助金	<input type="checkbox"/> その他 ()	
委託先(委託内容)	(有)平賀電気商会他				
事業の概要	・トレーニングマシン修繕工事、平賀屋内温水プール男子採暖ガラスヒート交換工事、ピッチングマシンローター交換修理、ひらかドーム避雷導線改修工事、コーキング修繕、平川河川広場(大坊)駐車場舗装補修、平賀屋内温水プール機械設備修理工事、除雪機修理、平賀体育館案内板取り付け、屋内運動場 給湯用空気抜弁交換 他				

2. 事業の目的

対象(何、誰を)	運動施設等
事業の目的	運動施設の故障箇所を修繕し、市民の方々に安全な施設を提供し、生涯スポーツやレクリエーションの場とする。また、競技力の向上及び健康づくりの推進を目的とする。
事業の現状 (目的実現のための手段及び実施内容)	だれもが生涯スポーツ並びにレクリエーションの場として、安全で快適に利用できるように効率的な維持管理に努めている。なお、松崎河川敷公園については、破損した施設の復旧作業が実施されており、使用できるまでもう少し時間を要する見込みである。
事業の成果 (どのような成果を得ようとしているか)	各施設の利用者数は、毎年増加傾向にある。利用している個人及び団体が、各種大会で優秀な成績を取っており、スポーツ振興へ寄与している。

3. 決算額(単位:千円)

事業費総額	財源内訳			
2,190	国県補助金	(参加者)負担金	その他	一般財源
				2,190

4. 事務事業の成果(具体的に記載)

<p>施設全体の利用者は増加傾向にあるが、それぞれの施設において修繕等の維持管理費が嵩む傾向にある。限られた予算内で安全な施設を利用してもらい、競技力向上や市民の健康づくりが図られている。</p> <p>平成26年度利用者数 85,841人 (屋内運動場54,187人、トレーニングルーム12,445人、テニスコート11,499人、河川公園7,710人)</p>

5. 評価

A	<p>運動施設の修繕については、経年劣化により管理費が増大傾向にあるが、修繕をすることにより市民に安全な施設を提供することができる。</p> <p>また、生涯スポーツやレクリエーションの場として、市民の健康づくり及びスポーツ振興に寄与している。</p>
---	--

事務事業評価表

平成26年度

事務事業名	文化財保護事業	事業No.	21
-------	---------	-------	----

担当課	生涯学習課	担当課長	谷川 功	担当者	滝本 学	内線等	44-1221
予算科目	一般会計 10款 4項 3目 文化財保護費						

1. 事業概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1	こころ豊かな、未来へ向かうひとづくり	
	個別目標	1-4	こころ豊かに芸術文化の振興	事業開始年度 26 年度
	主要施策	1-4-2	文化財保護と活用	事業終了年度 26 年度
根拠法令・要綱等	文化財保護法、平川市文化財保護条例、平川市郷土資料館条例、平川市無形文化財等保存継承事業補助金交付要綱			
事業実施の手法	<input type="checkbox"/> 直営	<input type="checkbox"/> 委託	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金	<input type="checkbox"/> その他（
委託先(委託内容)	[]			
事業の概要	補助金により文化財の保存・保護を支援し、国民共有の財産である文化財を後世に伝えるとともに、災害等による損失を避けるための火災訓練の実施や教育普及事業の実施により、市民の文化財愛護精神および郷土愛の育成を図る。			

2. 事業の目的

対象(何、誰を)	文化財所有者・市民
事業の目的	文化財を適正に保存・保護し、郷土の歴史や文化財を活用した各種教育普及事業を実施することにより、身近な歴史文化遺産への関心を高め、郷土に対する愛着と誇りを培う。
事業の現状 (目的実現のための手段及び実施内容)	市補助金による無形文化財団体への支援、火災防ぎょ訓練のほか教育普及事業を実施している。また、李平下安原遺跡・入瀬館遺跡・李平(2)遺跡で、遺跡の範囲・残存状況等把握するための試掘調査(市内遺跡発掘調査事業/国庫補助)を実施した。
事業の成果 (どのような成果を得ようとしているか)	各種補助金による支援や災害等による損失を避けるための火災防ぎょ訓練を実施して文化財を後世に正しく伝え、各世代を対象とした学習機会を提供により、文化財や地域の歴史・文化の理解を促すことができる。また、埋蔵文化財と各種開発の調整を行い、文化財保護と都市形成の両立を図るほか、市街化区域内農地での試掘調査を実施し、周知の遺跡の残存状況等の基礎情報を得ることができた。

3. 決算額(単位・千円)

事業費総額	財源内訳			
	国庫補助金	(参加者)負担金	その他	一般財源
5,645	1,800			3,845

4. 事務事業の成果(具体的に記載)

<ul style="list-style-type: none"> 市内無形文化財保存団体(7団体)に対する市補助による支援や火災防ぎょ訓練、文化財標柱・説明板の設置のほか、児童向けの「何がでるかな?発掘調査体験」、移動学習の「大光寺城の足跡を訪ねて」、専門家を招へいしての講座「津軽の中世城館」、企画展示「平川市の仏像展」「出土する銭貨」を実施し、各世代を対象とした各種教育普及事業を実施し、文化財の保護、歴史・文化財の理解、防火協力体制の確認と確立を図ることができた。 李平下安原遺跡・入瀬館遺跡・李平(2)遺跡内農地で試掘調査(市内遺跡発掘調査事業)を実施し、対象地の基礎情報を収集することができた。
--

5. 評価

B	無形文化財等保存継承事業、教育普及事業、火災防ぎょ訓練は一定の成果を挙げていることから、今後も継続する。埋蔵文化財は引き続き法に基づき対応する。なお、市内各所に設置される文化財説明板・標柱の劣化が進行しているため計画的な更新を要するが、設置基準や内容の精査を行った上で取り組みたい。
---	---

